

業務状況説明書

(平成28年10月1日から平成29年3月31日まで)

富士見市水道事業

1 平成28年度下半期の状況

(1) 事業の概況

ア 営業

平成28年度末における給水人口は、109,715人で、前年度末に比べ503人の増加となっています。

年間配水量は、11,252,710 m^3 で、前年度に比べ45,170 m^3 の減少となっており、人口が増加しているにもかかわらず配水量が減少するという傾向が持続しています。

年度 区分		平成28年度 (年度末)	平成27年度 (年度末)	比較	
				増減	比率(%)
給水人口(人)		109,715	109,212	503	100.5
配 水 量	総量(m^3)	11,252,710	11,297,880	$\Delta 45,170$	99.6
	1日最大(m^3)	34,240	34,380	$\Delta 140$	99.6
	1日平均(m^3)	30,829	30,869	$\Delta 407$	99.9

イ 建設改良

老朽管更新事業については、東みずほ台地区の配水管布設替工事等を実施しました。

浄水場改良事業については、平成28・29年度の継続事業となる東大久保浄水場電気設備更新工事の28年度施工分が終了し、中間検査を実施しました。

配水管改良事業については、関沢3丁目地区の配水管布設替工事等を実施しました。

また、みどり野西地区で施工しておりました送水管布設替工事(その2)につきましては、地下埋設物調査に関し、関係機関との調整に日数を要したため、平成29年度に繰越をいたしました。

(2) 経理の状況（税込）

下半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

（単位：千円）

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	事業収益	1,858,990	847,633	986,180	1,833,813	98.65
	営業収益	1,748,362	847,000	879,074	1,726,074	98.73
	営業外収益	110,128	343	107,106	107,449	97.57
	特別利益	500	290	0	290	58.00
支出	事業費	1,654,370	442,699	1,067,181	1,509,880	91.27
	営業費用	1,571,628	407,922	1,020,340	1,428,262	90.88
	営業外費用	81,542	34,702	46,840	81,542	100.00
	特別損失	200	75	1	76	38.00
	予備費	1,000	0	0	0	—

イ 資本的収入及び支出

（単位：千円）

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	資本的収入	5,200	0	4,655	4,655	89.52
	他会計負担金	2,500	0	3,902	3,902	156.08
	工事負担金	2,700	0	753	753	27.89
支出	資本的支出	1,008,967	291,230	524,172	815,402	80.81
	建設改良費	778,504	177,274	407,666	584,940	75.14
	企業債償還金	230,463	113,956	116,506	230,462	100.00

2 平成29年度予算の概要

(1) 予算編成概要

ららぽーと富士見開業に伴い、27年度の給水収益は大幅にアップし、28年度、29年度においても同程度の収益を見込んでおります。しかし、給水収益の基本となる生活用水量（家庭内等で使用する水量）は、利用者の生活様式の多様化、節水機器の普及等により減少傾向にあることから、長期的にみると、給水収益も減少傾向となるものと懸念しているところです。

その一方で、水道水の安定供給を維持するためには、老朽管の更新、浄水場や配水管の改良工事等を計画的に実施していく必要があります。将来にわたり、これらの財源を適正に確保することが求められています。

こうした厳しい状況の中ではありますが、安心・安全で安定的な水道水の供給を長期に行うために必要な事業を中心とした予算編成に努めました。

(2) 業務の予定量

年度 区分		平成29年度	平成28年度	増減
		給水戸数（戸）	50,224	49,557
配水量	総量（m ³ ）	11,293,000	11,277,271	15,729
	1日平均（m ³ ）	30,940	30,897	43

(3) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比0.44%減の18億5,082万7千円、支出は、前年度比0.54%減の16億4,551万2千円で、収支差引では、2億531万5千円の黒字となっています。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比23.08%増の640万円、支出は、前年度比20.86%増の10億1,520万円となり、収支差引では10億880万円の赤字が見込まれますが、この赤字分については、損益勘定留保資金等で補てんするものとしております。

(4) 収入支出明細書

収益的収入及び支出

(単位：千円)

収入	款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業収益				1,850,827	
	営業収益			1,771,785	
			給 水 収 益	1,548,008	水道料金の予定額を計上
			受 託 工 事 収 益	25,409	受託工事収益の予定額を計上
			補 償 金	1,020	修繕工事による補償金の予定額を計上
			加 入 金	149,958	加入申込金の予定額を計上
			そ の 他 営 業 収 益	47,390	下水道使用料徴収受託料等を計上
		営業外収益			78,542
			受 取 利 息	1,910	預金利子の予定額を計上
			消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 還 付 金	7,982	消費税及び地方消費税還付金の予定額を計上
			長 期 前 受 金 戻 入	67,886	長期前受金の戻入予定額を計上
			雑 収 益	764	その他雑収益を計上
	特別利益			500	
			過 年 度 損 益 修 正 益	500	過年度損益修正益を計上

支 出

(単位：千円)

支出	款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業費用				1,645,512	
	営業費用			1,587,922	
			原 水 及 び 浄 水 費	876,536	浄水及び送水に必要な経費を計上
			配 水 及 び 給 水 費	149,425	配水及び給水に必要な経費を計上
			受 託 工 事 費	26,372	受託工事に必要な経費を計上
			業 務 費	110,448	検針及び収納に必要な経費を計上
			総 係 費	49,063	事務運営に必要な総括的経費を計上
			減 価 償 却 費	371,568	償却資産に対する減価償却費を計上
			資 産 減 耗 費	3,510	固定資産除却費等を計上
			そ の 他 営 業 費 用	1,000	その他雑支出を計上
	営業外費用			56,390	
			支 払 利 息	56,389	企業債及び一時借入金利子を計上
			雑 支 出	1	不用品売却原価を計上
	特別損失			200	
			過 年 度 損 益 修 正 損	200	過年度損益修正損を計上
	予備費			1,000	
			予 備 費	1,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 収 入			6,400	
	他会計負担金		3,700	
		他 会 計 負 担 金	3,700	一般会計からの負担金を計上
	工 事 負 担 金		2,700	
		配 水 工 事 負 担 金	2,700	開発に伴う配水工事負担金等を計上

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 支 出			1,015,200	
	建 設 改 良 費		774,271	
		建 設 総 係 費	29,144	建設に必要な事務費を計上
		老 朽 管 更 新 事 業 費	157,189	老朽管更新に必要な工事費等を計上
		浄 水 場 改 良 費	190,597	浄水場改良に必要な工事費等を計上
		配 水 管 改 良 費	390,428	配水管布設工事費等を計上
		量 水 器 費	4,105	量水器出庫予定額を計上
		固 定 資 産 購 入 費	2,808	軽自動車2台購入を計上
	企 業 債 償 還 金		240,929	
		企 業 債 償 還 金	240,929	企業債元金の償還金を計上